



2024年2月6日(火)～11日(日・祝) 新国立劇場小劇場

急速に変化を遂げる時代の中に取り残され立ちすくむ孤独な魂たち……  
テネシー・ウィリアムズ 一幕劇 3本同時上演

■写真・資料のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 演劇研修所 演劇研修係 井上・柴田・上田

Tel: 03-5352-5770 / Fax: 03-5352-5776 / Email: [dramastudio@nntt.jac.go.jp](mailto:dramastudio@nntt.jac.go.jp)

■新国立劇場 演劇研修所ウェブサイト

<https://www.nntt.jac.go.jp/dramastudio/>



@nnt.dramastudio.tokyo



@nnt\_dramastudio



---

## 作品について

---

2021年入所の第17期生が、修了公演としてテネシー・ウィリアムズ的一幕劇に挑みます。

今回上演するのは、1930年～1940年代に書かれた、『坊やお馬』『踏みにじられたペチュニア事件』『ロング・グッドバイ』の3作品。工業化が進み急速に変化を遂げる当時のアメリカを舞台に、脱却できない日々の閉塞感の中で懸命に生きる人々の姿を描きます。

流れ続ける時間、変化し続ける時代の中に取り残され、ただ立ちすくむことしかできない、孤独な魂たち。

その等身大の葛藤を、宮田慶子演劇研修所長の演出のもと濃密な会話劇でお届けします。

コロナ禍に立ち向かいながら、3年間の研修に励んできた第17期生の集大成をぜひご覧ください。



---

## あらすじ

---

### 『坊やお馬』

アメリカの大都会、工場地帯にある安手のアパートで暮らす、工場労働者のムーニーとその妻ジェーン。二人の間には乳飲み子がいる。ジェーンと暮らすまではカナダで木こりをしていたムーニーは、夢のない、機械のように働くだけの生活に苛立ち、落ち着きがなく、早朝から台所を歩きまわっている。現実生活のやりくりで精一杯のジェーンと、自由にあこがれるムーニー。二人は永遠に会話がかみ合わない。ムーニーは、この泥沼の生活から脱して、木こりの生活に戻ろうと決意する。

### 『踏みにじられたペチュニア事件』

ボストン文化圏のなかにあるマサチューセッツ州のプリマンプロパーという町で、「シンプル小間物店」を営んでいるミス・ドロシイ・シンプル。早朝、彼女はその店を開けひどくいきりたっていた。大事に育てたペチュニアの花々が踏みにじられていたのだ。警察に被害を訴えるドロシイ。そこに、自分がやったと言い放つ若い男が現れる。ペチュニアを踏みつけただけでなく、ドロシイの心のなかにも土足で入り込んでくる男。次第にドロシイはこの男の言う通りに行動する。

### 『ロング・グッドバイ』

アメリカ中西部の大都市の真ん中にあるうらぶれた共同住宅で、売れない小説を書いて暮らすジョー。彼は今日、生まれてから23年間ずっと暮らしてきたこの部屋に、別れを告げようとしている。治療費の支払いに怯え300ドルの保険金を残して自殺した母。貧しいことに耐えられず家を出た妹。家では一言も発さず毎晩ソファーに座っているだけだったが父も、突然行方をくらませた。運送屋たちが思い出の家具を運び出すと、過去の記憶が甦る。

### 作：テネシー・ウィリアムズ (Tennessee WILLIAMS)

---



TENNESSEE WILLIAMS  
Photo credit: Stephen Van Leeuwen  
Library of New York City

アメリカの劇作家(1911-1983)

ミシシッピ州コロンバスに生まれ、不況時代のセントルイスで複雑な家庭環境のもと青春時代を過ごす。各地を放浪しながら創作をしていたが、39年に4つの一幕劇でシアター・ギルド賞を受賞。44年自伝的作品『ガラスの動物園』がブロードウェイで上演された第一作。この成功に続く47年の『欲望という名の電車』、55年の『やけたトタン屋根の上の猫』で2度のピューリッツァー賞を受賞し、劇作家としての地位を確固たるものにしたが、その名声の裏で、生涯背負い続けた孤独と葛藤から私生活は荒れていった。83年ニューヨークのホテルの一室にて事故死。享年71歳。

### 演出：宮田慶子 (みやた・けいこ)

---



演出家

劇団青年座所属。翻訳劇、創作劇、ミュージカル、オペラと多方面にわたる作品を手がけ、演劇教育や日本各地での演劇振興・交流にも積極的に取り組む。(公社)日本劇団協議会常務理事。2010年～18年新国立劇場演劇芸術監督をつとめ、『ヘッダ・ガーブレル』『わが町』『おどくみ』『朱雀家の滅亡』『負傷者 16人—SIXTEEN WOUNDED—』『るつぼ』『長い墓標の列』『つく、きえる』『永遠の一時—Time Stands Still—』『三文オペラ』『海の夫人』『パッション』『月・こうこう、風・そうそう』『君が人生の時』『プライムたちの夜』『消えていくなら朝』、また、オペラ『沈黙』(12・15年)を演出。16年4月より新国立劇場演劇研修所長。所長としての演出作品に『MOTHER—君わらひたまふことなかれ』『美しい日々』『るつぼ』『社会の柱』『マニラ瑞穂記』『理想の夫』『ブルーストッキングの女たち』。

## キャスト

### 新国立劇場演劇研修所 第17期生

			
飯田 桃子 いいだ ももこ	小林 未来 こばやし みく	佐々木 優樹 ささき ゆうき	田崎 奏太 たさき そうた
			
立川 義幸 たてかわ よしゆき	根岸 美利 ねぎし みり	樋口 圭佑 ひぐち けいすけ	

### 新国立劇場演劇研修所 修了生

	
二木 咲子 にき さきこ (第1期/2008年修了)	須藤 瑞己 すどう みずき (第15期/2022年修了)

## ギター演奏



### ギタリスト

東京都出身。10代の頃より音楽活動始める。

自身のインストバンド“Crooked Sun”(2018年1stアルバム発売)の他、様々なアーティストのライブサポートやレコーディング(KERA、鈴木慶一、ももいろクローバーZ、ヒプノシスマイク、吉澤嘉代子、Hana Hope、大貫妙子、他)、また舞台音楽の劇伴等に参加している。

NHK Eテレ「ムジカ・ピッコリーノ」シーズン9-10(アルカ号編)にはルッチョラ役としても出演。

## 公演概要

### 新国立劇場演劇研修所 第17期生修了公演 流れゆく時の中に -テネシー・ウィリアムズ- 幕劇- 『坊やお馬』『踏みにじられたペチュニア事件』『ロング・グッドバイ』

作 : テネシー・ウィリアムズ

演出 : 宮田慶子

翻訳 : 鳴海四郎 (坊やお馬) / 倉橋 健 (踏みにじられたペチュニア事件/ロング・グッドバイ)

美術 : 土岐研一

照明 : 中川隆一

音響 : 信澤祐介

衣裳 : 西原梨恵

演出助手 : 日沼りゆ (第15期修了)

舞台監督 : 松浦孝行

出演 : 新国立劇場演劇研修所 第17期生

飯田桃子 小林未来 佐々木優樹  
田崎奏太 立川義幸 根岸美利 樋口圭佑

新国立劇場演劇研修所修了生

二木咲子 (第1期修了)  
須藤瑞己 (第15期修了)

ギター演奏 伏見瑩

演劇研修所長 : 宮田慶子

主催・制作 : 新国立劇場

会場 : 新国立劇場小劇場

公演日程 : 2024年2月6日(火)～11日(日・祝)

2月	6日(火)	7日(水)	8日(木)	9日(金)	10日(土)	11日(日・祝)
昼			14:00		14:00	14:00
夜	18:30	18:30		18:30		

チケット料金 (10%税込)

A席	B席	U25席	Z席(当日券)
3,850円	3,300円	1,650円	1,650円

好評発売中!

\*クラブ・ジ・アトレ会員ほか、各種割引はありません。

\*U25席は、ご観劇当日に25歳以下の方が対象です。Webボックスオフィスのみでのお取り扱いです(電話予約不可)。

入場時、チケットと共にご年齢を確認できる証明書(コピー不可)をご提示ください。

\*就学前のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。

#### Z席の購入方法

Z席は、公演当日朝10:00から、新国立劇場Webボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1人1枚です。上記の方法での先着販売後、残席がある場合は、公演当日朝11:00からボックスオフィス窓口でも販売いたします(電話予約不可)。

#### 託児のご案内

2月10日(土)公演は、託児室<キッズルーム「ドレミ」>がご利用になれます。(定員制/要予約/有料)

#### 【チケットのご予約・お問い合わせ】

新国立劇場ボックスオフィス TEL : 03-5352-9999 (10:00～18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <https://nntt.pia.jp/>

---

## 新国立劇場 演劇研修所について

---

新国立劇場演劇研修所は、明晰な日本語を使いこなし、柔軟で強い身体を備えた、次世代の演劇を担う舞台俳優の育成を目指して、2005年に設立されました。研修期間は3年間で、原則として週5日、午前10時～午後6時のレッスンを、年間を通して行っています。

1・2年次は基礎的俳優訓練とともに、第一線の演出家や俳優指導の専門家を軸とする講師陣による基礎的な訓練およびシーンスタディを行い、3年次には修了に向けて数本の舞台実習公演を行います。修了生は、新国立劇場公演のみならず、さまざまなプロデュース公演に出演、映像作品への出演、声の吹替など、活躍の場を広げています。

本公演に出演する第17期生は、2021年4月に入所。コロナ禍により活動が制限された中でも、2年半の厳しい研鑽を積んでまいりました。3年次である今年度、朗読劇『ひめゆり』に続き、11月には童話作家新美南吉の晩年を描いた『君は即ち春を吸ひこんだのだ』を上演し、舞台人としてさらなる成長を続けています。

本公演、そして2月の修了公演と、舞台での実践的な経験を積み、国内外で活躍する俳優への道の一步を踏み出します。今後の公演、そして活躍にもどうぞご期待ください。

新国立劇場演劇研修所ウェブサイト：<https://www.nntt.jac.go.jp/dramastudio/>

### <授業風景>



アクション



海外招聘講師 特別授業



戯曲を読む

演劇研修所修了生の出演情報：<https://www.nntt.jac.go.jp/play/training/graduate/info/>